管理課長

〉 それでは、これより令和3年度第1回広尾町総合教育会議を開催したいと思います。はじめに町長からあいさつをお願いします。

町長

〉 ご苦労様です。第1回目の総合教育会議であります。大変お忙しい中、御参集いただきましてありがとうございます。何といってもコロナの感染拡大、これが収束の見通しが立たないどころか、感染拡大が止まりません。そんな状況になっております。8月27日、北海道においても緊急事態宣言が発出されたところです。十勝においては特別措置地域ではなく一般措置区域として今対応しているところであります。でも内容的にはほぼほぼ変わらず緊急事態宣言の状態になっているところであります。北海道の振興局別に見ても、十勝、本当に高い数字にあるところであります。10人から30人、毎日のように出ているところであります。そんな中であって、学校の関係でもクラスターが発生したと今日の新聞でも出ています。しっかりとした対策が必要かなと思っているところであります。デルタ株の猛威というところで、今までの感染対策よりも考え方を改めて、意識をしてしっかりと感染対策を行うことが必要かなと考えております。何が出来るかと言えば、今までの対策をより真面目に、慣れにならないようにしっかりと対策をすること、これが必要かなと思っているところであります。そんな中にありまして、教育委員の皆さんにもそれぞれ教育分野で大変なコロナ対策も含めてご協力をいただいていること、あらためて感謝を申し上げます。今日の協議事項につきましては、教職員の働き方改革についてが協議事項であります。よろしくお願ひ申し上げます。

管理課長

〉 それではこれ以降総合教育会議運営指針第4条に基づき、町長の議事進行となります。よろしくお願ひします。

町長

〉 毎回であります。議事進行教育長にお願いしておりますが、よろしいでしょうか。
(各委員「はい。」) それでは教育長、お願ひします。

教育長

〉 それでは、協議事項に入らせていただきます。まず(1)教職員の働き方改革について、事務局から説明をお願いします。

管理課長

〉 それでは(1)教職員の働き方改革についてであります。1頁のほうをお願いいたします。こちらのほう、教育委員会職員による勤務管理システムにより勤務時間の管理をしております。年度ごとに取り組みの進捗状況を検証し、必要に応じて取り組みの見直しを行うものであります。令和2年度の勤務実績であります。週の合計勤務時間の平均であります。

す。広尾小学校が平均で40時間48分、豊似小学校が35時間55分、広尾中学校が40時間28分、全学校の平均で40時間10分となっております。令和元年度末から令和2年度当初は新型コロナウイルス感染症の影響による休校・休業により例年に比べ勤務時間の減少が見られます。また令和2年度につきましては、7・8月が夏季休業期間短縮となっておりますので、その期間は例年より勤務時間が多い状況となっております。年々働き方改革の効果が表れておりまして、勤務時間の縮減が図られているところであります。現在各学校におきましては、週1回の定期退勤日の設定や、部活動においては週休2日の休日の設定、いろいろなシステム化も進んでおります。校務システム等も導入しております。また広尾小学校におきましては、令和2年度道教委より働き方改革推進校の指定を受けまして、学校の実情や地域特性に応じた実践研究を進めております。今年度令和3年度につきましても、学校力向上に関する総合実践事業を大樹町と広域で取り組んでおりまして、働き方改革につきましては広尾小学校が指定校となっております。広尾小学校においては保護者あてのメール一斉送信システムの導入や活用、ワンノートの活用による資料のペーパーレス化、職員会議等の効率化を図っております。今年度においても校務支援システムによる指導要録の作成のシステムを導入しております。また各校におきましても時間外電話の留守番電話対応等についても検討を進めているところでございます。今年の4月に教育委員会会議で制定した「学校における働き方改革広尾町アクションプラン（第2期）」引き続き推進して、これからも働き方改革を進めていきたいと考えております。以上で説明を終了いたします。

教育長

〉ただ今説明がございましたけども、この件についてご質問等ありましたら発言をお願いします。

教育長

〉この働き方改革なんですけど、各学校単位で取り組んでいる状況がありまして、徐々にではありますけども、その効果は表れているというふうに思っております。でもまだまだですね、この週40時間超えてしまうと状況の、先生にもよりますけども、そういう方がいるということ、時期的なものも相まってですね、なかなか数字的には極端な減少は見られませんが、徐々に減らしていきたい、改善していきたいというふうに考えております。とにかく工夫できることはすべて工夫してやってくださいということは学校には伝えてありますので、今後ですね、徐々に改善する方法で取り組みを進めていくということになってございます。

大森委員

〉はい、数字だけを見るとだいぶ改善されているんだろうと理解はできるんですけど、やっぱり一番大事なのは本当に改善できるところは改善したうえで、もうちょっと時間が欲しいんだということも出てくるのではないかなと思うんです。たとえばこのコロナ禍においても、オンライン授業まだ本格的にはなってないかもしれないんですけど、これから

出来てないところをどうやったらクリアできるかとか、教育力向上のために研修を受けなければならないとか、今までと違う内容でもっと時間数使いたいというというような先生のご意見もあると思うんですよね。そういう内容的なところもきちっと教育委員会のほうと先生のほうとコミュニケーションとれるようにするということが必要かなと思うんですけど。

教育長

〉あのやっぱりそういう実態はございます。じゃあそれをほっといていいのかということではなくて、学校全体でどう取り組んでいくかということをやっています。オンライン授業の関係も、タブレットが一人1台行き渡っています。それから不登校生徒の対応も含めてですね、うちの教育研究所です各学校からそういう精通してる先生を選んでいただいて、研究所として取り組んでいます。当然小学校2校、中学校1校ありますけども、豊似はこうやってやっています、広尾はこうやってやっていますではなくて、豊似も広尾も同じ考え方で取り組んでくださいと、その子たちが中学校に行くんです、中学校に行ったときに豊似はこうやってました、広尾はこうやってましたでは困るんですということをやっています。そして高校の関係もですね、地元の6割7割が広尾高校に進学しますので、高校もつなげたいという考え方ですね、一貫した形で取り組まなければいけないかなというふうに思っています。いろんな意味で実態把握しながらですね、今後もできるところはやっていくというようなことで考えております。

教育長

〉ほかにありませんか。

中村委員

〉ひとり40時間としてるんですけどね、先生方の働き方改革はそれはそれで良いんですけども、それによって子どもたちへの学力の影響どれくらいあるのか。

教育長

〉そこは子どもたちに影響があっては困るので、そこは教職員共通した認識で取り組んでいますので、学力が落ちるようなことがあったらこれは元も子もないので、そこだけはしっかりとやってもらうということですね、去年は学力テストがなかったんですけども、やってみたかったなというのはあるんです。特に小学校の児童は全国平均上回っているものもあるし、近づいているという状況になっていますので、そういう面で効果は一定程度出ていると思いますし、より中学校も頑張ってもらうように、今、話を進めているところであります。

教育長

〉ほかにございませんでしょうか。

武藤委員

〉この働き方改革のなかで、父兄とかからの電話、学校対応例えば留守番電話になっていると聞いたんですけど、本当に緊急のときの連絡体制というのはどういうふうになっているのかお聞きしたいです。

管理課長

〉高校とかはもう留守番電話対応になっているんですけども、時間で自動的にその時間につながらなくなって、そのことは小中学校これからどのようにするのかというところです。緊急の場合、今は普通に小中学校つながります。今後どのようにするのか検討していく段階です。広尾小学校、豊似小学校については留守番電話の機能があるんですよね、使おうと思えば使えるんですけど、緊急の場合ですとか、そういう場合にどうするかというのを整理して、そのうえで先生の携帯にばかり電話行ったら、また働き方改革につながらないので、どのようなルールにするかはこれから検討していくんですけど、高校のほうの運用も参考にさせていただきたいと。

武藤委員

〉現時点では、直接先生の携帯に電話がいたりとかっていうことはない。

管理課長

〉そうです、今のところは学校に連絡が来てると思います。先生の個人の携帯については学級連絡網とかでは連絡していると思うので、そういうところから先生に直接ということはあると思います。

武藤委員

〉こういう状況なので、なにかあったときは緊急の連絡体制というものを統一しておかなければならないのかなと。分かりました。

教育長

〉ほかにございませんでしょうか。

齊藤委員

〉特に小学校とかの教諭で、少年団にご指導で携わっている先生というのは、少年団の活動時間というのは、勤務時間外ですか。

教育長

〉勤務時間外です。勤務というのは中学校の部活動というのは勤務になりますけども、少年団活動のお手伝いに関しては勤務外です。

齊藤委員

〉小学校とかPTAの会議、今は自粛してるんですけど行っていたときに、会議午後7時くらいからなんですけど、大体その時間まだ残って仕事している先生というのは、少年団活動終わってから仕事ですとか、比較的若い先生だとか経験が浅い先生かなと。中堅の先生方はやっぱりもうノウハウもスキルもあるので、すっと帰れてるのかなというのが見受けられていて、どうなのかなと思っていました。

教育長

〉積極的に少年団活動に取り組んでくれる先生もいますし、強制ではないですけども、なるべく負担にならないように、出来れば外部講師ですとか、そういうものを導入しながら先生方の不安を軽減していくということも今後出てくると思いますけども、ただこういう小さな町ですから、そういう人材がいれば良いんですけども、なかなかいないというのも現実ですけども、そこにシフトしていくような形はとっていきたいです。

教育長

〉この件についてはよろしいでしょうか。それでは（２）その他になります。

管理課長

〉その他なんですけど、このたびの緊急事態宣言の発令を踏まえました新型コロナウイルス感染症対策について説明をさせていただきます。別冊の資料のほうご覧願います。1頁をお願いします。道教委の通知を受けまして、感染症対策について十勝統一で対応をするものであります。はじめに大きな1学校教育、（1）登下校・日課・授業についてであります。6頁をお開き願います。6頁の中段程に3一般措置区域の公立学校における留意事項とありまして（1）登下校・日課・授業というところがございます。アのところで、感染リスクの高い学習活動はおこなわないこととなっております。3頁をお願いします。道教委の通知文書ですが、中段の下線を引いている部分をご覧いただきたいと思います。この部分には、すべての道立学校において、新しい生活様式を踏まえた行動基準をレベル3に移行することとしております。3段階中で一番きつい、一番上の段階となります。これを受けまして広尾町の小中学校においても、これに準じレベル3の対応を取ることであります。次に8頁をお願いします。学校の新しい生活様式の抜粋となります。感染リスクが高いものについて載せております。特に感染リスクが高いもの、合唱などについて星印がついております。レベル3の地域については中段少し下の波下線の部分にあるように、このような活動は行わないこととなっておりますので、各学校に周知をして指導しております。次に学校行事についてであります。6頁をお願いします。6頁3の（3）学校行事のところで、アです、集団宿泊的行事の実施を見合わせることであります。広尾中学校では8月18日から、広尾小学校では9月1日から修学旅行を予定しておりましたが、両校とも10月中旬以降に延期をしております。次の、イの部分では感染リスクが高い行事、運動会、体育祭や学校祭等は中止または延期すること、ただし分散・縮小など感染対策を十分に講じて実施できる場合は可能とすることとなっております。運動会、体育

祭についてはすでに実施済みであります。緊急事態発令期間中の9月12日までの期間は大きな学校行事等は予定されておりませんが、10月に実施予定の広尾小学校の学習発表会については、すでに平日に分散開催することとして決定しているとのことです。次に1頁のほうにお戻りください。(3)部活動練習、(4)大会への参加についてであります。部活動につきましては(3)の①にあるとおり、原則休止となります。ただし、②に記載のとおり、中体連等が主催する全道、全国に直結する大会に出場する部活動に限り、活動を厳選化したうえで練習を認めるとするものであります。また、合同チームを編成する部活動については、大会に向けた部活動に限り、校長間で感染対策を配慮し、教育委員会との協議を経て可否を判断します。全道全国への道がなくなった段階で練習は休止、対外試合、合宿については例外なく禁止となります。大会については予定通り実施か、中止・延期が可能なのかどうか中体連会長から本日連絡が参りました。1枚ものの両面刷りのものでございますが、大会等について記載のとおり延期、中止、予定通り実施等連絡が来ております。また(3)部活動練習の部分で⑤までしかないのですが、本日の通知で⑥が追加されております。部活動の練習については大会2週間前からを目途とするということで、追加となっています。次に2頁をお願いします。2社会教育の(1)社会教育・生涯学習関連施設(屋内外)についてであります。十勝教委連の考え方としては原則休止とするものですが、地域の感染状況を踏まえ、自治体の判断とすることとなっております。広尾町におきましては8月26日開催の新型コロナウイルス対策会議において社会教育施設、社会体育施設、すべての休館を決定しております。(2)学校開放事業につきましては年度当初から休止をしているものであります。(3)スポーツ少年団活動については、原則休止、中学校部活に準じた扱いとなっております。(4)社会教育事業につきましては基本的にすべて延期をしております。以上緊急事態宣言を踏まえた新型コロナウイルス感染症対策について説明をさせていただきました。

教育長

〉ちょっと補足をさせていただきますけども、今日、豊似小学校の校長に相談されました。豊似小学校の修学旅行は、9月下旬を予定しておりましたけども、この緊急事態宣言が9月の12日から延長されるのではないかとこのことも受けて、学校内で協議をして、豊似小学校においても修学旅行は10月ないし11月に延期する方向で今、保護者に通知を出すということで今日、連絡がありました。

教育長

〉この、コロナの関係、なにか確認等ございましたら発言をお願いします。よろしいですか。それでは令和3年度第1回広尾町総合教育会議を終了させていただきます。お疲れ様でした。

この議事録は、令和3年8月31日に開催の広尾町総合教育会議の確定に基づいて作成した。（当日の議案は別紙のとおり）

広尾町長 村 瀬 優

教育長 菅 原 康 博

（令和3年9月10日調製）

広尾町教育委員会管理課